

令和3年度決算に係る

定期監査資料

令和4年5月

埋蔵文化財センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	職員の定員、現員調べ	1頁
4	役付職員の調べ	1頁
5	主な事業に関する調べ	2頁
6	現金の取扱状況	6頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
7	財産に関する調べ	7頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
8	財産の貸付け及び使用許可調べ	9頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
9	借受不動産明細調べ	10頁
10	職員駐車場の管理状況調べ	10頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
11	寄附物件の受納状況調べ	10頁
12	備品の処分状況調べ	10頁
13	埋蔵文化財の調査と研究	11頁
14	埋蔵文化財の普及啓発	12頁
	(1) 普及資料の発行等	
	(2) 見学者数	
	(3) 出前講演	
	(4) 普及イベントの開催	
15	埋蔵文化財関係職員等の研修	14頁
16	文化財保護の資料収集及び活用状況	14頁
17	出土品の整理及び公開状況	15頁
○	意見・要望等	17頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和4年4月1日現在)

区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	
定員	19	19	0	0	0	0	19	19	
現員	(5)	(5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(5)	(5)	()書きのうち、5は派遣(鳥取県教育文化財団)
	18	19	0	0	0	0	18	19	
過不足(△)	△1	0	0	0	0	0	△1	0	
臨時的任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度任用職員	8	8	0	0	0	0	8	8	一般事務3、 出土品整理作業員5

4 役付職員の調べ

(令和4年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
所長	牧本 哲雄	1年 0月	
次長	中尾 弘	0年 0月	出納員
発掘事業室長	小口 英一郎	0年 0月	
課長補佐	(兼) 中山 寧人	2年 0月	教育委員会事務局 小中学校課 課長補佐 通算期間12年
課長補佐	君嶋 俊行	2年 0月	鳥取県教育文化財団派遣

5 主な事業に関する調べ

(単位:千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取県の考古学情報発信事業	7,641	3,917			3,724
将来ビジョン	本県の豊かな歴史、自然・環境、食、文化等を知り、楽しむとともに、地域において自分の存在や役割に手応え・充実感が感じられる「価値実感生活」の実現 「知」「徳」「体」のバランスの取れた学校教育				
令和新時代創生戦略	SDGsゴール:08 働きがいも経済成長も				
政策項目	青谷上寺地遺跡等の整備やたたら・刀剣など歴史のふるさとづくり				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財センターに保管されている出土品や調査記録などを積極的に活用するなどして、鳥取県の考古学に関する様々な情報を積極的に発信し、児童・生徒や県民の方々の郷土の歴史や地域の埋蔵文化財に対する理解を深めていくことを通して、郷土愛の醸成を図り、保存・活用につなげ、ひいては地域振興も図る。 「鳥取西道路」改築事業などの開発事業に伴う調査で出土した土器、金属製品等の再整理、台帳作成、保存処理を行う。 					
(イ) 事業の実施状況					
・展示見学等活用事業 (単位:人)					
事業内容(開催場所)	R3	R2	備考		
・施設見学、体験学習	306	264	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントを中止・変更した。		
①施設見学、体験学習(当センター)	(356)	(154)			
②古代まつりin埋蔵文化財センター(当センター)	—	(76)			
③冬休みイベント(当センター)	(9)	(34)			
(12頁「(2)見学(受付)者数、13~14頁「(4)普及イベントの開催」参照)					
・展示	554	4696	・引き続き、当センターでの展示に加え、大型商業施設と鳥取県東部庁舎ギャラリーでパネル展を行った。		
①常設展示(当センター)	(293)	(837)			
②企画展示(当センター) 5回	(320)	(895)			
③大型商業施設での出前展示 2回 (イオン鳥取北店、パープルタウン)	—	(100)			
④東部庁舎パネル展示(鳥取県東部庁舎) 4回	—	—			
⑤共同企画展「鳥取県埋蔵文化財センターの名品」 (鳥取市歴史博物館)	—	(2,864)			
(13~14頁「(4)普及イベントの開催」、14~15頁「(2)出土品の展示公開」参照)					
・講演会	1417	1088	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部イベントを中止した。		
①連続講座「鳥取まいぶん講座」(当センター) 6回	(110)	(172)	・古代山陰道についての特別講演会を開催した。		
②とっとり考古学フォーラム「古代の女性史」(とりぎん文化会館)	(85)	—	・まいぶん講座や考古学フォーラムで、オンラインを併用して実施した。		
③調査研究成果報告会 (当センター、国府町コミュニティセンター)	—	(111)			
④特別講演会 「古代官道がつなぐ山陰の古代社会」(鳥取市青谷町総合支所) (13~14頁「(4)普及イベントの開催」参照)	(50)	(99)			
⑤ミニシンポジウム『戦国狗戸那城を探る』(オンライン)	—	—			
⑥出前講演 14回(27回)	(943)	(467)			
⑦出前授業 9回(12回)	(269)	(239)			
・イベント	162	270	・地元市町・団体とも連携を図りながら、史跡の現地案内や調査研究個所での現地説明を行った。		
史跡等活用イベント 8回					
(古代山陰道現地説明会 2回)	(66)	(106)			
(狗戸那城跡現地説明会)	(35)	(125)			
(亀井山城登山)	(8)	—			
(狗戸那城ウォーク)	(13)	—			
(大谷城ウォーク)	(30)	—			
(岩倉城ウォーク)	—	(17)			
(親子で学ぶ発見!地域の歴史 2回) (13~14頁「(4)普及イベントの開催」参照)	(10)	(22)			
合計	2439	6318			

・出土資料等の再整理・復元・公開

再整理・復元出土品数: 土器 11点 木製品 323点

(14頁「(1)土器の復元及び木製品の再整理」参照)

・市町村等への支援

活用イベントの支援、出土品等の貸し出し、試掘調査や踏査に技術的支援を行った。

・普及資料刊行事業

普及冊子「調査研究紀要13」を刊行した。

・歴史授業(小・中・高校)への支援

教育センターと連携して教員研修を開催した(3回、計11人)。

授業づくりについて相談のあった学校と連携して授業づくり、授業実施を行った。

イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

・新型コロナウイルス感染症対策でイベントを中止したため、ホームページやSNSで調査研究の成果、講座の内容などを積極的に紹介した。

・企画展示に加え、鳥取県東部庁舎ギャラリー、大型商業施設でのパネル展示を実施した。

・新型コロナウイルス感染症対策として、考古学フォーラムでリモート講演を行ったほか、まいぶん講座のオンライン聴講に取り組んだ。

ウ 成果及び効果

・ホームページ等の閲覧者がさらに増加した。(当センターHP閲覧数58,533)

・新型コロナの影響はあったが、ホームページ等を活用しての情報公開などにより、来館者の落ち込みは大きくなかった。

エ 課題

・交通手段の確保等の問題に加え、新型コロナの影響もあり、見学学校の校数は少ないままである。

・文化財の普及啓発を通じて、保存・活用を図り地域振興にもつなげていくことは、県だけでなく市町村等にも共通のテーマであるが、市町村等によって温度差がある。

(単位:千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
重要遺跡等調査研究事業	3,530	1,712			1,818
将来ビジョン	本県の豊かな歴史、自然・環境、食、文化等を知り、楽しむとともに、地域において自分の存在や役割に手応え・充実感が感じられる「価値実感生活」の実現 「知」「徳」「体」のバランスの取れた学校教育				
令和新時代創生戦略	SDGsゴール:(11 住み続けられるまちづくりを)				
政策項目	青谷上寺地遺跡等の整備やたたら・刀剣など歴史のふるさとづくり				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
<ul style="list-style-type: none"> ・本高14号墳およびその周辺の大型古墳の調査研究を推進し、学術的位置づけを行い、地域・観光振興に生かす。 ・青谷上寺地遺跡や青谷横木遺跡の道路遺構など、青谷地域の古代山陰道の調査研究を推進し、学術的な価値付けをすることで、地域振興や観光振興に活かす。 ・古代山陰道の国史跡指定による更なる価値付けを目指し、青谷地域の新たな魅力発信につなげる。 ・狗尸那城跡・市場城跡の調査研究を推進し、学術的な価値づけをし、地域振興や観光振興に活かす。 					
(イ) 事業の実施状況					
○発掘調査					
<ul style="list-style-type: none"> ・青谷東側丘陵の養郷狐谷遺跡及び養郷宮之脇遺跡の追加調査を実施し、古代山陰道の規模や構造を確認した。 ・青谷西側丘陵の青谷大平遺跡の発掘調査を実施し、新たに古代山陰道の可能性がある道路遺構を確認した。 ・道路遺構の学術的な価値付けを行うために「因幡国古代山陰道発掘調査委員会」を組織し、遺構の評価や発掘調査計画について有識者に諮った。 ・狗尸那城跡について追加調査を実施し、主郭や切岸部分の構造を確認した。 ・市場城跡の平坦面で建物跡の有無を確認する発掘調査を実施した。 					
○現地説明会・ウォーキング等					
<ul style="list-style-type: none"> ・養郷狐谷遺跡及び青谷大平遺跡の発掘調査成果を一般公開する現地説明会を開催した。 ・地元の鳥取市青谷町で特別講演会「官道がつなぐ山陰の古代社会」を開催した。 ・狗尸那城跡の発掘調査成果を一般公開する現地説明会や、現地ウォークを開催した。 ・山城として規模・構造が卓越する大谷城(倉吉市)ウォークを開催した。 ・本高14号墳を見学する現地ウォークを開催した。 					
イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> ・遺構の保護を図りながら必要最低限の発掘調査を行うとともに、調査面積や調査方法を工夫することで、当初計画にはなかった養郷宮之脇遺跡の追加調査などに対応することができた。 ・発掘調査における測量作業に写真測量を導入し、短時間で記録作業ができるよう調査方法を改善した。 					
ウ 成果及び効果					
○発掘調査					
<ul style="list-style-type: none"> ・養郷狐谷遺跡では全国的にも例がない、丘陵鞍部(尾根にできた窪み)を大規模に埋め立てた痕跡が確認され、土留めの杭の痕跡も確認された。 ・青谷大平遺跡では、青谷上寺地遺跡の延長線上にあたる丘陵で、尾根に沿って延びる大規模な道路遺構を発見した。 ・狗尸那城跡では礎石建物跡にともなう石積み、切岸の構造を確認した。 ・市場城跡の曲輪面の発掘調査を実施し、建物跡の一部となる柱穴跡を多数確認した。 					
○現地説明会・ウォーキング等					
(新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者数を制限し、最低人数の参加者で開催)					
<ul style="list-style-type: none"> ・養郷狐谷遺跡及び青谷大平遺跡の現地説明会を開催し、併せて66名の参加者があった。 ・11月23日に開催した特別講演会「官道がつなぐ山陰の古代社会」は県内外から50名の参加者があった。 ・狗尸那城跡の現地ウォークで23名、現地説明会で35名の参加者があった。 ・大谷城ウォークでは30名の参加者があった。 ・古墳ウォークでは14名の参加があった。 					
エ 課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・古代山陰道の国史跡指定に向け、県と鳥取市が連携を強化して具体的な取り組みを進めていく必要がある。 ・青谷上寺地遺跡の史跡整備や普及活用等とも連携した取り組みが必要である。 					

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取西道路出土木製品調査研究事業	2,402	951			1,451
将来ビジョン	本県の豊かな歴史、自然・環境、食、文化等を知り、楽しむとともに、地域において自分の存在や役割に手応え・充実感が感じられる「価値実感生活」の実現 「知」「徳」「体」のバランスの取れた学校教育				
令和新時代創生戦略	SDGs ゴール：11 住み続けられるまちづくりを				
政策項目	青谷上寺地遺跡等の整備やただら・刀剣など歴史のふるさとづくり				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
<ul style="list-style-type: none"> 鳥取西道路の改築に伴う発掘調査で出土した、コンテナ約5,000箱(約80,000点)に及ぶ木製品の保存処理と調査研究を行い、古くから豊かな森林資源を背景に育まれた本県の歴史や地域間交流、暮らしなどを、「木の文化」を通じて解明するとともに、地域振興にも活かしていく。 					
(イ) 事業の実施状況					
<ul style="list-style-type: none"> コンテナ1,274箱(約20,000点)の木製品の状態把握と調査研究、保存処理の優先順位を決めるトリージ作業を実施した。 316点の木製品の保存処理を、PEGとトレハロースによる2種の方法で実施した。また優品(7点)については、業者委託により実施した。 調査研究のための実測作業を実施した(59点)。 昨年度に引き続き、樹種同定(205点)による環境復元や年代測定を、鳥取大学中原計准教授との共同研究で実施した。 保存処理を終えた木製品について速報展示等の情報発信を行った。 県内在住の木工職人に依頼した縄文時代のケヤキ大径木を用いた作品制作を引き続き実施し、完成した作品の展示を行った。 林業試験場の協力を得ながら、縄文時代のカゴ素材となるヒノキを用いたひごの作成に係る基礎研究を実施した。 					
イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> 大型の木製品が大半となったことから、トリージ方法を大きく見直し作業の効率化を図った。 					
ウ 成果及び効果					
<ul style="list-style-type: none"> トリージ点数を昨年度比2倍(昨年度コンテナ約640箱)と、大きく進捗させることができた。 トレハロースによる保存処理が軌道に乗り、技術的にもほぼ確立できたことで、処理が複雑となる中型以上の木製品を処理することができた。 共同研究による樹種同定の結果から、遺跡で用いられている材が、遺跡周辺環境を大きく反映していることが改めて示された。 59点の木製品実測作業を終えることができた。 経過も含めた保存処理の状況をHPやフェイスブックで情報発信し、処理を終えた物についてはセンター内で速報展示を行い、閲覧者や来館者から好評を得ている。 					
エ 課題					
<ul style="list-style-type: none"> トリージを引き続き進めるとともに、調査研究を推進することが必要。 国重要文化財指定を目指した、青谷横木遺跡出土品の調査研究を更に進めることが必要。 史跡青谷上寺地遺跡の整備とも連携しながら情報発信を行うことが必要。 					

6 現金の取扱状況
 (1) 現金取扱状況

(令和4年3月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
物品売払収入	284,120	223	書籍販売代金
雑入	18,870	49	販売書籍送料
合計	302,990	272	

(2) つり銭の状況

(令和4年3月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)
		10,000

7 財産に関する調べ
 (1)公有財産
 ア 土地

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)	
行政財産	埋蔵文化財センター	鳥取市国府町宮下1260番地	5,720.49	70,500,864	増加	R				R	5,720.49	70,500,864	
			5,722.00	-	増加	R				R	5,722.00	-	
	埋蔵文化財センター秋里分室	鳥取市商栄町390番地	9,407.14	-	増加	R				R	9,407.14	-	
			7,900.00	-	増加	R				R	7,900.00	-	
計			28,749.63	70,500,864			0.00	0			28,749.63	70,500,864	
	合計		28,749.63	70,500,864			0.00	0			28,749.63	70,500,864	

イ 建物

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)	
行政財産	埋蔵文化財センター	鳥取市国府町宮下1260番地	1,419.26	-	増加	R				R	1,419.26	-	
			1,895.00	6,600,000	増加	R				R	1,895.00	6,600,000	
	埋蔵文化財センター秋里分室	鳥取市商栄町390番地	2,099.19	-	増加	R				R	2,099.19	-	
			1,806.68	20,547,057	増加	R				R	1,806.68	20,547,057	
計			7,220.13	27,147,057			0.00	0			7,220.13	27,147,057	
	合計		7,220.13	27,147,057			0.00	0			7,220.13	27,147,057	

ウ 山林 該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

オ 物権 該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和4年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
23 枚	0 枚	0枚	枚
		0円	23

8 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産 の区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量 又は 面積	貸付 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸付 (使用許可) 期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏 所名		
行政財産	鳥取県東部 ろうあ協会の 活動拠点	鳥取市国府町 宮下1262番地	40㎡	R2.4.1	H26.10.29	R3.4.1 ~ R4.3.31	0	0	鳥取市気高町浜村783- 1095 鳥取県東部ろうあ協会 0長	20-00251629	
	自動販売機 設置	鳥取市国府町 宮下1260番地	2㎡	R2.8.5	R2.8.5	R2.8.5 ~ R7.3.31	19,920	19,920	鳥取市千代水一丁目24番 地 アシード株式会社鳥取支 店	20-00110937	
計								19,920			
合計								19,920			

(2) 物品

(令和4年3月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住氏 所名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料				
埋蔵銭	1点		R3.9.27 ~ R3.11.30	0	0	鳥取市東町2丁目124 番地 とつとりの乱世展実行委 員長 尾崎 信一郎	鳥取県立博物館第1・第2展 示室	企画展「とつとりの乱世- 因幡・伯耆からみた戦国 時代」において展示するた め	レプリカ貸し出し
山城ジオラマ (狗戸那城)	1点		R3.9.27 ~ R3.11.30	0	0	鳥取市東町2丁目124 番地 とつとりの乱世展実行委 員長 尾崎 信一郎	鳥取県立博物館第1・第2展 示室	企画展「とつとりの乱世- 因幡・伯耆からみた戦国 時代」において展示するた め	
合計					0				

9 借受不動産明細調べ

(令和4年3月31日現在)

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約書の有無	契約の状況		借受先		備考
						借受期間	単価	借料(円)	住所名	
建物	RC3階	遺物収蔵庫	鳥取市吉岡温泉町789-1	902㎡	有	H30.4.1 ～ H35.3.31	月額・年額 免除	鳥取市尚徳町116 鳥取市 鳥取市長 深澤義彦		
合計									0	

10 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

(令和4年3月31日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	鳥取市国府町宮下1260番地(センター本所)	12.5	4,000

(2) 減免の考え方
該当なし

(3) 使用料の見直し
該当なし

11 寄付物件の受納状況調べ
該当なし

12 備品の処分状況調べ
該当なし

1.3 埋蔵文化財の調査と研究

(1) 発掘調査

遺跡名	調査目的	調査面積 調査期間	内容・成果等
養郷狐谷遺跡 (鳥取市青谷町内)	青谷平野で見つかった古代山陰道のルートや道路構造を解明する。	62㎡ 令和3年7月13日 ～12月16日	現地踏査で確認した切通しなどの道路痕跡を試掘・確認調査し、丘陵尾根を縦走する最大幅9mの古代山陰道の道路遺構を確認した。
養郷宮之脇遺跡 (鳥取市青谷町内)		21㎡ 令和3年11月19日 ～12月16日	国内初となるつづら折りの道路遺構について追加調査し、新たに幅9mの道路がつづら折りとなる部分を確認した。
青谷大平遺跡 (鳥取市青谷町内)		70㎡ 令和3年8月6日 ～12月16日	現地踏査で確認した切通しなどの道路痕跡を試掘・確認調査し、丘陵尾根を500mにわたって縦走する大規模な道路遺構を確認した。
狗尸那城跡 (鳥取市鹿野町内)	狗尸那城跡の時期比定、山城としての構造を解明する。	25㎡ 令和3年5月11日 ～12月15日	主郭、切岸について調査を行い、石積みや斜面を段状に加工した痕跡を確認した。
市場城跡 (倉吉市内)	市場城跡の時期比定、建物などの遺構を確認する。	64㎡ 令和3年10月20日 ～12月17日	曲輪面の発掘調査を行い、柱穴を多数検出し、当時の建物跡が遺存することを確認した。

(2) 出土品整理作業・報告書作成作業

遺跡名	調査目的	作業内容
養郷狐谷遺跡 養郷宮之脇遺跡 青谷大平遺跡 (鳥取市青谷町内)	・出土品を調査研究し、古代山陰道がつけられた年代等を明らかにする。	出土した遺物の図化や遺構図の作成等の整理作業を行った。報告書は令和4年度に刊行予定。
狗尸那城跡 (鳥取市鹿野町内)	・出土品を調査研究し、狗尸那城がつけられた年代等を明らかにする。	出土した遺物の図化、写真撮影、遺構図のトレース等の整理作業を行った。報告書は令和3年度に刊行。
市場城跡 (倉吉市内)	・出土品を調査研究し、市場城がつけられた年代等を明らかにする。	出土した遺物の整理作業を行った。

(3) 出土品の調査研究

○鳥取西道路関連遺跡出土木製品の調査研究

鳥取西道路関連で出土した木製品(約80,000点)の再整理に関連し、令和3年度は約20,000点の木製品について調査研究及び保存処理の優先順位を決めるトリアージ作業を実施した。保存処理については316点の処理をセンター内で行うとともに、容器をはじめとした優品7点については、業者委託による保存処理を行った。また、調査研究のため、青谷横木遺跡出土木製品59点の実測作業も行っている。

共同研究として、鳥取大学の中原計氏と、弥生時代から中・近世の木製品205点の樹種同定や環境復元を昨年度に引き続き実施し、長期間にわたる県内の自然環境の変化と樹種の選択の変化についてのデータを取得することができた。

活用面では、経過も含めた保存処理の状況をHPやフェイスブックで情報発信し、処理を終えた物についてはセンター内で速報展示という形で紹介した。また、県内の木工職人に、縄文時代のケヤキ材を使用した木製品の制作を引き続き依頼し、その作品もセンター内で展示した。

なお、林業試験場の協力を得て縄文時代のカゴ素材となるヒノキを用いたひご作りの基礎研究にも着手した。

○須恵器の産地同定からみる古代の流通と交通の研究

因幡国の流通と交通を明らかにすることを目的とし、岡山理科大学の白石純氏との共同研究で、須恵器の胎土分析を昨年度に引き続き実施した。令和3年度は消費地である集落遺跡等出土資料426点の分析を行った。分析成果について、令和4年度11月に八頭町教育委員会との共催でフォーラムを開催し、発表の予定。

1.4 埋蔵文化財の普及啓発

(1) 普及資料の発行等

ア 遺跡地図の改訂

市町村単位で遺跡地図の更新（年度ごとに遺跡の新発見や消滅について登録）を行い、県内の文化財保護部局及び開発部局等に配布した。

イ 図書の刊行

名称	内容等	発行部数		備考
		無償頒布	有償頒布	
調査研究紀要13	文化財専門職員が県内埋蔵文化財を調査研究した成果をまとめた冊子。成果を広くPRするため、県内外の調査機関、図書館等に配布。	350冊	50冊	

ウ ホームページ、SNSでの遺跡情報発信

遺跡の発掘調査や出土品・展示会の情報を逐次発信している。

HP閲覧数：58,533（令和4年3月31日現在）

(2) 見学者数

（令和4年3月31日現在）（単位：人、校、件）

個人	団体	
613人	団体のうち学校の利用（小学校）	2校（214人）
	（中学校）	1校（32人）
	（高等学校）	校（人）
	（特別支援学校等）	1校（15人）
	（大学）	1校（18人）
	学校を除く各種団体の利用	1件（18人）
		合計297人

(3) 出前講演

県内出前講演一覧

（令和4年3月31日現在）

実施場所	内容	参加人数
鹿野地区公民館	講演「古代山陰道と乙亥正屋敷廻遺跡」	21人
鳥取市歴史博物館	講演「古代山陰道について」	20人
あおば地区公民館	ワークショップ「火起こし体験」	30人
湖山池公園青島	ワークショップ「火起こし体験」及び講演「湖山池と遺跡変遷」	10人
大伴家持歌碑・因幡国庁跡周辺	大伴家持歌碑・因幡国庁跡地の来歴・由来についての現地解説	90人
雁金山城跡	雁金山ウォークでの現地解説	10人
まなびタウンとうはく（リモート）	講演「黄泉の世界へようこそ」	6人
まなびタウンとうはく（リモート）	講演「戦国の知将 亀井茲矩」	7人
まなびタウンとうはく（リモート）	講演「青谷の古代山陰道」	10人

気高町コミュニティセンター	講演「因幡・伯耆の古城探訪及び狗尸那城調査について」	25人
飛田砦	飛田砦ウォークでの現地解説	15人
鳥取市立小鷲河地区公民館	講演「狗尸那城、シンジャク城、荒神山城について」	×
狗尸那城跡	狗尸那城ウォークでの現地解説	×
日進小学校	ワークショップ「火起こし体験」	×
まなびタウンとうはく	講演「「女子群像」板絵と青谷横木遺跡」	×
まなびタウンとうはく	ワークショップ「檜扇（扇子）をつくろう」	×
まなびタウンとうはく	講演「溪流の王者「オオサンショウウオ」」	×
久松公民館	講演「久松山西坂を探る」	×
米子ワシントンホテルプラザ	講演「たたら製鉄の源流を探る」	×

※参加人数欄に「×」印があるものは、新型コロナウイルス感染拡大により主催者が中止したものの。

県外出前講座

(令和4年3月31日現在)

実施場所	内 容	参加人数
国学院大学渋谷キャンパス 東京都 (リモート)	「青谷遺跡群・養郷宮之脇遺跡（鳥取市）の調査について」（第21回古代交通研究会大会）	400
サンラポーむらくも 松江市 (リモート)	第31回出雲古代史研究会「鳥取県内の古代道路機構の調査成果」	80
明治大学駿河台キャンパス (リモート)	明治大学リバティーアカデミー「鳥取いにしえの木の文化」	219
新温泉町文化会館	講演「古代・中世の食事の話～グルメな古代・中世の人々～」	×

※参加人数欄に「×」印があるものは、新型コロナウイルス感染拡大により主催者が中止したものの。

(4) 普及イベントの開催

イベント名	開催日/会場	実施内容	参加者数
鳥取まいぶん講座 第1回 いにしえの田園風景 (春)	R3. 4. 17 /埋蔵文化財センター	調査で見つかった農作業に関する遺物や遺構、木製農具の製作方法、出土木簡などからわかる農作業などについて、解説した。	20人
鳥取まいぶん講座 第2回 いにしえの器	R3. 6. 19 /埋蔵文化財センター	弥生時代の「花卉高杯」を取り上げ、形態、分布、製作技法などの時期的な変化等について、解説した。	16人
鳥取まいぶん講座 第3回 いにしえの田園風景 (秋)	R3. 9. 18 /埋蔵文化財センター	弥生時代以降の稲刈りから脱穀・粃すりや調理の様子について、関連する考古資料やそこから分かることなどを解説した。	12人
鳥取まいぶん講座 第4回 因幡の国府とその周辺	R3. 11. 20 /埋蔵文化財センター	因幡国府とその周辺の古代寺院について、調査時の写真や、因幡を中心とした瓦等の研究成果を元に解説した。	22人
鳥取まいぶん講座 第5回 因幡の中世城館	R4. 1. 15 /埋蔵文化財センター	狗尸那城跡、守護山名氏が本拠とした天神山城について、京都系土師器皿を中心に出土品の比較を行い、狗尸那城跡の築造や改修の時期や背景に迫った。	20人
鳥取まいぶん講座 第6回 因幡の古墳 方墳から前方後円墳へ	R4. 3. 19 /とりぎん文化会館	山陰最古級の前方後円墳、本高14号墳の築造の背景について、大型方墳に始まる千代川左岸の古墳築造状況との関連などを交え解説した。	20人

鳥取考古学フォーラム「古代の女性史」	R3. 7. 10 /とりぎん文化会館	古代の女性史をテーマとし、当県出土資料を中心に、卑弥呼から、飛鳥時代の因幡出身の伊福吉部徳足比売臣まで、古代女性史の最新の研究成果を紹介した。	85人
特別講演会「官道がつなく山陰の古代社会」	R3. 11. 23 /鳥取市青谷町総合支所	山陰で見つかった古代山陰道跡と、最新の古代交通と地方官衙の研究成果等について解説した。	50人
親子で学ぶ 発見！地域の歴史	R3. 10. 2、11. 6 /埋蔵文化財センター	親子を対象に、古墳、中世城館のそれぞれについて、身近な遺跡や実験を通して解説した。	10人
狗尸那城ウォーク	R3. 6. 26 /鳥取市鹿野町鷲峰	技巧的な縄張りを持つ山城に歩いて登り、特徴や価値について解説した。	13人
亀井山城登山	R3. 10. 31 /日南町生山	石垣を持つ急峻な山城を登山し、現地に残る遺構を解説した。	8人
大谷城ウォーク	R3. 12. 5 /倉吉市大谷	倉吉市の大規模な山城を歩いて巡り、遺構や特徴を解説した。	30人
狗尸那城跡発掘調査現地説明会	R3. 11. 27 /鳥取市鹿野町鷲峰	令和3年度に行った狗尸那城跡の発掘調査について、現地で調査成果の説明を行った。	34人
古代山陰道発掘調査現地説明会	R3. 11. 7、13 /鳥取市青谷町	令和3年度の発掘調査について調査成果を説明した。	66人
冬休みイベント	R3. 12. 25・26 /埋蔵文化財センター	冬休み中の子ども向けに山城ミニチュアジオラマづくりなどの古代体験や忍者になって手裏剣投げのコーナーなどを実施した。	11人
本高・古海古墳群ウォーク	R4. 3. 21 /鳥取市本高	墳丘が保存された山陰最古級の前方後円墳、本高14号墳と周辺の遺跡（本高弓ノ木遺跡など）を歩いて巡った。	14人

1.5 埋蔵文化財関係職員等の研修

(単位：日、人)

研修名	計 画 (A)			実 績 (B)			(B) - (A)		内 容 及 び 会 場
	研修期間	日数	人員	研修期間	日数	人員	日数	人員	
専門研修 発掘調査 検討課程	R3. 8. 10	1	20	-	-	-			<内容>砂丘遺跡の調査方法の研修を企画したが、砂丘遺跡が想定されていた現地で遺跡が確認できなかったことから中止した。 <会場>北栄町
合 計	-	1	20	-	-	-	0	△20	

1.6 文化財保護の資料収集及び活用状況

- ・展示室のみで利用可能であった「とっとり遺跡MAP」をWEB公開するとともに、学校におけるICT活用授業でのデジタル教材となるよう各学校にPRした。

17 出土品の整理及び公開状況

(1) 土器の復元及び木製品の再整理

- ・展示等で活用するため、遺跡から出土した土器をもとの形に復元した。(5遺跡 11点)
- ・収蔵している木製品の保存性をより高めるため再整理作業を実施した。(4遺跡 323点)

(2) 出土品の展示公開

埋蔵文化財センターが整理を行った出土品を中心に公開した。

展示会名称	会場	会期	内容
埋蔵文化財センター常設展	鳥取県埋蔵文化財センター	R3. 4. 1 ~R4. 3. 31	埋蔵文化財センターの収蔵品である豊成叶林遺跡、桂見遺跡、青谷横木遺跡、長瀬高浜遺跡、本高古墳群などの出土品を展示し、来所者へ向け県内の遺跡について情報発信をした。
商業施設で来て！見て!!学んで 鳥取の遺跡展	東部展 イオン鳥取北店	R3. 7. 30~8. 1	発掘された「古代の女性」に関する資料と、「因伯の山城50選」応募作品を写真パネルで紹介した。
商業施設で来て！見て!!学んで 鳥取の遺跡展	中部展 パープルタウン	R3. 9. 10 ~9. 12	発掘された「古代の女性」に関する資料と、「因伯の山城50選」応募作品を写真パネルで紹介した。
企画展示「いにしへの田園風景(春)」	鳥取県埋蔵文化財センター	R3. 4. 9~5. 28	春から夏にかけての田おこしから田植えまでに関する資料を展示・紹介した。
企画展示「いにしへの器」part1	鳥取県埋蔵文化財センター	R3. 6. 4~7. 9	外面に花卉様の文様が施され、弥生時代後期に鳥取を中心に日本海沿岸地域に広く分布する花卉高杯を展示・紹介した。
企画展示「いにしへの器」part2	鳥取県埋蔵文化財センター	R3. 7. 16 ~8. 27	収蔵する弥生時代前期から江戸時代までの50点以上の漆器を一度に展示・紹介した。
企画展示「いにしへの田園風景(秋)」	鳥取県埋蔵文化財センター	R3. 9. 3 ~10. 15	米の収穫から調理までに関する資料を展示・紹介した。
企画展示「因幡の国府とその周辺」	鳥取県埋蔵文化財センター	R3. 10. 22 ~12. 24	因幡国府遺跡について、主に昭和47年から昭和54年に行われた発掘調査の成果を展示・紹介した。
企画展示「因幡の中世城館」	鳥取県埋蔵文化財センター	R4. 1. 7 ~2. 18	因幡国の守護所であった天神山城(県史跡)を中心に他の城館を出土品も含め紹介した。
企画展示「因幡の古墳」	鳥取県埋蔵文化財センター	R4. 2. 25 ~3. 31	鳥取平野の古墳時代前期前半の様相を示す資料を展示し、古墳時代開始期の状況を紹介した。
東伯耆の中世城館展	鳥取県東部庁舎 ギャラリー	R3. 5. 10~5. 20	東伯耆の中世城館を写真パネルで紹介した。
いにしへの田園風景(春)展	鳥取県東部庁舎 ギャラリー	R3. 6. 14 ~6. 24	春から夏にかけての田おこしから田植えまでに関する資料をパネルで紹介した。
いにしへの器展	鳥取県東部庁舎 ギャラリー	R3. 7. 30 ~8. 12	弥生時代後期に鳥取を中心に日本海沿岸地域に広く分布する花卉高杯をパネルで紹介した。
因伯の山城50選応募作品展	鳥取県東部庁舎 ギャラリー	R3. 10. 11 ~	「因伯の山城50選」に応募のあった写真の中から選んで展示した。

(3) 出土品等の貸出

ア 展示への貸出

(令和4年3月31日現在)

貸出先	貸出物
県立博物館	桂見遺跡出土品6点(丸木舟ほか)、妻木法大神遺跡出土品1点(板状)

	石器)、長瀬高浜遺跡出土品5点(土師器)、梅田萱峯遺跡出土品1点(ナイフ形石器)、南原千軒遺跡出土品2点(石鋸ほか)、坂長第6遺跡出土品2点(鞆羽口ほか)、高住平田遺跡出土品2点(縄文土器)、殿河内上ノ段大ブケ遺跡出土品1点(縄文土器)
宮崎県立西都原考古博物館	宮内第1遺跡1号墳丘墓出土品1点(鉄刀)
鳥取市因幡万葉歴史館	良田平田遺跡出土品13点(須恵器)、秋里遺跡出土品1点(銅鏡)、高住平田遺跡出土品1点(銅印)、下坂本清合遺跡出土品1点(銅印)
大阪府立狭山池博物館	本高弓ノ木遺跡出土品7点(土のうほか)
鳥根県立出雲古代歴史博物館	本高弓ノ木遺跡出土品13点(弥生土器ほか)、大柵遺跡出土品3点(弥生土器)、金沢坂津口遺跡出土品1点(手箕)、殿河内上ノ段大ブケ遺跡出土品1点(人形土製品)、青谷横木遺跡出土品5点(木簡)
とっとり乱世展実行委員会	下坂本遺跡出土品レプリカ1点(埋納銭)、狗尸那城跡縄張りジオラマ1点
鳥取市青谷上寺地遺跡展示館	茶畑六反田遺跡出土品1点(石器)、梅田萱峯遺跡出土品1点(弥生土器)、名和飛田遺跡出土品1点(弥生土器)
県立博物館	湯坂遺跡出土品38点(管玉)、松原田中遺跡出土品7点(管玉ほか)
鳥根県立古代出雲歴史博物館	坂長第1遺跡出土品1点(木簡)、青谷横木遺跡出土品9点(女子群像板絵ほか)
県立博物館	青谷横木遺跡出土品1点(勸請板)

イ 写真ネガ等の貸出

(令和4年3月31日現在)

画像利用許可先	利用画像	点数
株式会社ユニフォンプレスインターナショナル	桂見遺跡出土壺形土器写真	1
株式会社ユニフォンプレスインターナショナル	桂見遺跡出土壺形土器写真	1
株式会社ユニフォンプレスインターナショナル	桂見遺跡出土壺形土器写真	1
鳥根県古代文化センター	青谷上寺地遺跡・養郷新林遺跡・養郷宮之脇遺跡古代山陰道関連写真・図・イラスト	16
鳥取市教育委員会	青谷横木遺跡道路遺構写真	1
鳥取市教育委員会	桂見遺跡出土丸木舟出土状況写真	1
鳥取市因幡万葉歴史館	良田平田遺跡・青谷横木遺跡・秋里遺跡・高住平田遺跡・下坂本清合遺跡出土遺物写真等	22
集英社インターナショナル	青谷横木遺跡出土「女子群像板絵」写真・図	3
鳥取市教育委員会	桂見遺跡出土丸木舟展示状況写真	1
吉永壮志氏(鳥根県教育庁文化財課)	青谷古代山陰道関連図	1
秋田県横手市教育委員会	青谷横木遺跡古代山陰道関連写真・イラスト	2
株式会社ユニフォンプレスインターナショナル	桂見遺跡出土壺形土器写真	1
株式会社ユニフォンプレスインターナショナル	桂見遺跡出土壺形土器写真	1
大阪府立狭山池博物館	本高弓ノ木遺跡遺構写真	6
多賀城市教育委員会	青谷横木遺跡古代山陰道関係写真・イラスト	3
荒神谷博物館	梅田萱峯遺跡墳丘墓関連写真	2

鳥取市教育委員会気高分室	狗尸城跡ジオラマ写真	1
鳥取市因幡万葉歴史館	岡益廃寺跡関連写真・図	6
古代歴史文化協議会	宮内第1遺跡1号墳丘墓出土鉄剣等写真	1
県立公文書館	本高古墳群全景写真	1
公益財団法人 古代学協会	青谷古代山陰道関連図	1
株式会社ユニフォンプレスインターナショナル	桂見遺跡出土壺形土器写真	1
公益財団法人鳥取市文化財団鳥取市埋蔵文化財センター	青谷古代山陰道関連図	1
鳥取市青谷上寺地遺跡展示館	梅田萱峯遺跡出土絵画土器関連図	2
都城市教育委員会	青谷横木遺跡古代山陰道関連写真・図	3
株式会社ユニフォンプレスインターナショナル	桂見遺跡出土壺形土器写真	1
公益財団法人古都飛鳥保存財団	青谷横木遺跡出土「女子群像」板絵関連写真・図	3
日本放送協会鳥取放送局	南谷大山遺跡焼失住居写真	1
山形県村山市教育委員会	古代山陰道復元イラスト	1
鳥取県立むきばんだ史跡公園	梅田萱峯遺跡出土玉類写真	5
薬師寺展実行委員会（県立博物館）	青谷横木遺跡出土勸請板写真	1
読売新聞社鳥取支局	宮内第1遺跡出土鉄刀・鉄剣写真	1
奈良県立橿原考古学研究所	豊成上金井谷峰遺跡出土台形石器写真	1
島根県立古代出雲歴史博物館	青谷横木遺跡古代山陰道写真・イラスト	2
ファイルパブリケーションズ株式会社	梶山古墳奥壁の彩色壁画写真	1

○ 意見、要望等

- (1) 業務に関する意見・要望等 無し
- (2) 監査委員事務局に対する要望等 無し

